

## 2022年度自己評価報告レポートを報告いたします。

あやめこども園における自己評価シートをもとに、現状における本園の実情を分析した結果、概ね以下の通りとなった。

自己評価において明らかになった課題については、その旨を示して記載するものとする。

### 1. 本園教育及び保育目標並びに主な内容及び理念

#### 【教育及び保育目標及び理念】

キリスト教の精神に基づき、自由と平等と友愛の心に満たされ、心身ともに健やかな人格の形成を目指す。

人々を愛し、喜びをもって社会と隣人とに奉仕できる心身の発達を助成する保育を行う。

#### 【教育及び保育のねらい及び内容の概要】

##### 1. 感謝する心

神を覚えて敬い、神の恵みと自然の恩恵、両親や周囲の人々の慈しみと親切に感謝する

##### 2. たくましい心

すべての生命を愛し尊び、小さいものも弱いものも守り助ける

##### 3. 理解する心

他人の意見や考えをよく聞き、その心や立場を理解する

##### 4. 親しむ心

自然や芸術など美しいものを愛する

##### 5. 健康な体

好んで運動する健康な体を養い育てる

##### 6. 少人数学級編成

行き届いた指導ができるように少人数の学級編成で保育する

##### 7. 統合保育

専門機関の判定に基づいて統合保育を行う

### 2. 2022年度に取り組むことが必要な目標や計画

①モンテッソーリ教育

②ホームページの改善

③コミュニケーションの活発化

### 3. 2022年度自己評価に関する取り組み方針

自己評価で明らかになった課題に取り組み、保育内容や環境、業務の見直しを行う。改善すべき点は積極的に改善して、より良い教育活動を展開できる環境をととのえる。

#### 4. 総合的な評価結果

評価結果より現状を分析し、分野ごとに表にまとめると以下となる。

評価分野	
教育計画	園の方針及び、キリスト教保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をもとに、教育課程の編成、年間計画の作成を行っている。また、月1回の教師会・聖書の会を行って、教職員間で共通理解のもと、保育教諭が0～5歳児までの各年齢の月の指導案・週の指導案・日の指導案の作成を行っている。
保育の実施と指導	教育計画をもとに、学年目標、個人目標を立て、年齢・発達段階に配慮し、個々に応じた保育を実施し、指導を行っている。 また、特別な支援を必要としている子どもへの指導は保護者や専門機関との連携を図りながら必要な手立てを講じ保育を行っている。 しかし、特別な支援を必要としている子どもの増加や、指導、支援の内容が多岐に渡り、対応に苦慮している現状であり、今後の課題である。 就学に関しても、就学先の小学校と連携を図った。
家庭との連携と支援	家庭との連携では、園の方針を理解していただき、今後も生涯における成長の基盤作りを園と家庭と連携しながら行っていきたい。 また、個別懇談、就学面談等、保護者との話し合いの場を設け、より良い保育のための連携を行った。
地域との連携と支援	地域の子育て支援として、未就園児親子対象の園解放（ことりタイム）、子育て相談の受付を行っている。 感染症の流行に伴い、紙面での関係者委員会、書類審査を近隣の地域の方、保護者（あやめ会の副会長）の方のご協力により年2回設けた。園の方針をご理解いただき、園の運営や、緊急時の協力など、日頃より協力体制を取って頂いている。
安全衛生管理	日常における安全管理、衛生管理はマニュアルを見直し、アプリでの登降園や健康管理等を毎日確認し、安全衛生管理をおこなっている。 火災避難訓練は毎月1回、地震避難訓練、不審者対策避難訓練は年2回風水害の訓練もおこなっている。 バスの安全運行についてのマニュアルを再度確認し、乗降前後の点呼を2名体制でおこなうなど、事故予防を徹底した。 年二回薬剤師による園環境衛生調査をおこない、換気状況、騒音など多岐に渡り調査した。夏場はプールの水質検査もおこなった。
人事管理・労務管理	採用に至る手順については、公平・公正に気をつけ行っている。しかし、求人に対する有資格者の申込みが少なく、人材確保に課題が残る。 人材育成に関しては教職員の資質向上への対応として園内研修、園外研修を受講する体制を整えている。 労務管理については、就業規則をはじめ、種々の規定を整備して法改正にも対応している。特段の問題は生じていない。 今後も人材確保と人材育成に取り組んでいきたい。

財務管理 法人管理	財務管理は法人運営上最も重要な位置を占めており、必要書類を作成して公認会計士の監査を経るとともに、年2回の理事会・評議会の中で協議決定されている。
--------------	---

#### 5. 今後の課題と取り組み

- ①評価結果の分析を参考にして、課題を明確にし、**2023**年度も引き続き教育活動や付帯業務等の改善を行う。
- ②教育活動や園運営により有益なものとなるよう、課題を明らかにする。